

1 この科目の構成について

教科	国語	科目	古典探究	単位	2	単位
対象コース	一貫	コース	対象クラス	2	年	1組
使用教科書	高等学校古典探究 古文編（第一学習社） 高等学校古典探究 漢文編（第一学習社）					
使用副教材	入試につながる古文（ランズ） 入試につながる漢文（ランズ）					

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

学習内容：この科目で学習する大まかな内容

以下のことを主として学びます。

＜古文＞正確な文語文法を習得し、語彙力を養うことによって、古文を読み解く力を身に付けます。

＜漢文＞漢文語彙（用字）や句法を習得し、漢文を読み解く力を身に付けます。

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1) 学校

授業においては「考える手順」を身につけることが最も大切です。ノートとは正答を記すためのものではなく、正答に至るまでの思考のプロセスを書き付けるためのものです。問題文（口頭での質問も含む）の意図を読み取り、思考し、答えを表現する「手順」を授業で体得してください。

(2) 家庭

家庭学習では、授業内容の振り返りをしてください。知識を得るのが授業であり、その知識を定着させるのが家庭学習です。

3 この科目の評価方法について

評価の観点：何を使って評価するのか

(1) 知識・技能

古典作品を読解するのに最低限必要な古典文法、単語などの知識を身につけているか、定期考査や小テストを活用し評価します。

(2) 思考・判断・表現

様々な情報を的確に整理し、論理的に考える力を評価します。また、他者に自分の考えを的確に伝えるために論理展開や表現を工夫したりしながら、より良く相手に伝えようとする態度を有しているかを評価します。ワークシートやグループワークの取り組みなどを通して評価します。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

言葉が持つ価値について認識を深め、言葉を通じて他者と関わろうとする態度を評価します。また、自己を向上させるために主体的に古典作品に親しむ態度を有しているかを評価します。

4 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
1	4	今昔物語集 「小式部内侍が大江山の歌の事」 今物語 「やさし蔵人」 	平安朝の著名な人物にまつわる説話を読み、平中の色好みに端を発する滑稽話のおもしろさを味わいます。また説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉えます。文法事項としては、一年次の復習を兼ねて、動詞の活用、助動詞、基本的な敬語、係り結びなどを確認します。	●	●	●	
	5	故事・寓話 「推敲」「呉越同舟」	現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深めます。また、故事・寓話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉えながら、書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価します。一年次の復習として、再読文字などの訓読の仕方を確認します。	●	●	●	
		徒然草 「世に語り伝ふること」 「あだし野の露消ゆるときなく」	作者の鋭い観察眼を通して綴られた、世の諸事象に関する随筆を読んで、ものの見方・考え方を深めます。随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉えます。文法については、助動詞を中心とした接続の知識を習得します。	●	●	●	
		方丈記 「ゆく川の流れ」 	無常観を基調とした隠者文学を味わいます。和語に漢語を交えた和漢混交文で、対句や比喩を多用した格調の高い文章であることを確認します。文法では、助動詞等の識別の知識を習得します。	●	●	●	
	6	古代の史話 「鶏鳴狗盗」	史伝という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉えます。また、史伝を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養います。	●	●	●	
		伊勢物語 「初冠」	物語の中で和歌が果たしている役割を押さえながら、場面と登場人物の心情とを読み味わいます。また、歌物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉えます。	●	●	●	

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
2	8	竹取物語 「かぐや姫の昇天」	平安初期に書かれた作り物語の場面設定や心理描写を読み味わい、その伝奇性を生んだ古代人の想像力に触れます。伝奇的作り物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉えます。発表したりする。また、平安初期の作り物語を読み、文語のきまりや古典特有の表現に注意しながら、積極的に内容を捉えます。	●	●	●	
	9	名家の文章 「雑説」	漢詩の表現や技法への理解を深め、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを通して考えを広げます。漢詩特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉え、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養います。また、絶句と律詩の名作を読み、唐詩の表現の深さを味わいます。人間・社会・自然に対する作者の見方を的確にとらえ、自らの感性も磨きます。1	●	●	●	
	10	蜻蛉日記 「うつろひたる菊」	女流作家による日記文学に親しみ、優れたものの見方や言語感覚に触れます。基本的な古文単語の意味や助動詞の用例などに留意しながら、丁寧に口語訳する力を養います。また、和歌が作品の解釈に奥行きを与えていることを読み味わい、作品の主題を理解します。	●	●	●	
	11						
	12	項羽と劉邦 「鴻門の会」「四面楚歌」	劇的な描写、巧みな感情表現、優れた構成などを確認し、「史記」の文章が文学的にも味わい深いものであることを理解します。句法は、疑問・反語・使役・仮定・限定形を学習します。	●	●	●	
	1	源氏物語 「光る君」	平安時代の代表的な長編物語であり、日本古典文学の最高峰ともいえる本作品を通じて、優れた古典文学を読むことの喜びを体験します。文脈の中で会話主や省略された主語を正確に把握できるようにします。	●	●	●	
	2						

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
	3	中国の詩 「絶句」「峨眉山月記」 「春夜」「除夜寄弟妹」 諸家の思想 老子・孟子・莊子 道徳	漢詩の表現や技法への理解を深め、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを通して考えを広げます。漢詩特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉え、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養います。また、絶句と律詩の名作を読み、唐詩の表現の深さを味わいます。人間・社会・自然に対する作者の見方を的確にとらえ、自らの感性も磨きます。1 儒家の代表的な書物である「論語」や「孟子」について学び、その思想について理解を深めます。他にも古代中国の思想について触れ、自身の生き方を考える契機とします。また、句法と用字の知識を用いて、本文の正しい解釈をします。	●	●	●	
					●	●	

1 この科目の構成について

教科	国語	科目	文学国語	単位	3 単位
対象コース	一貫	コース	対象クラス	2 年	1 組
使用教科書	文学国語（東京書籍）				
使用副教材	イラストとネットワーキングで覚える現代文単語（いいずな書店） 入試につながる現代文（ランズ）				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

国語の教科では、「生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにすること」と「生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばすこと」、「言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度」を育むことを目標としています。

上述の三つの要素を向上させるためには、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、論理的に考える力や深く共感したり豊に想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることが必要です。また、言語がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会にかかわろうとする態度を養います。以上が本校の「現代の国語」の目標です。

学習内容：この科目で学習する大まかな内容

1、文学的な文章を通じて情景の豊かさや心情の機微を表す語句を量を増やし、文章で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにします。また、文学的文章の種類や文体の特徴などについても理解を深め、我が国の言語文化の特質について深く探ります。

2、文章の種類を踏まえ、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉えると共に、作品が成立した背景や他の作品との関係などを踏まえ、作品の解釈を深めます。

3、作品の解釈などについて、自分の意見を発表したり話し合ったりすることを通じて、自分の考えを的確に伝えられるよう表現の仕方を工夫する力を身につけます。

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1) 学校

授業においては「考える手順」を身につけることが最も大切です。ノートとは正答を記すためのものではなく、正答に至るまでの思考のプロセスを書き付けるためのものです。問題文（口頭での質問も含む）の意図を読み取り、思考し、答えを表現する「手順」を授業で体得してください。

(2) 家庭

予習で次に扱う部分を読み、内容理解のための語句の意味調べをしてください。授業でそれを確認します。復習は、学んだ事項の整理と暗記にあててください。

3 この科目の評価方法について

評価の観点：何を使って評価するのか

(1) 知識・技能

主に定期考査において評価しますが、平常課題で漢字や語彙の知識に関連する内容の部分も交えて評価します。定期考査においては、漢字の読み書き、語句の意味等に関する問題を【知識・技能】を計るための問題と位置づけ、評価の対象とします。

(2) 思考・判断・表現

主に定期考査において評価しますが、平常課題において思考力・判断力・表現力が必要となる部分も交えて評価します。定期考査においては、内容の理解に関する問題や記述問題を【思考・判断・表現】を計るための問題と位置づけ、評価の対象とします。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

主に平常課題や長期休暇課題等の取り組みを元に評価します。

4 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
1	4	『山月記』 中島敦 	登場人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について理解を深めます。	●	●	●	
	5	『言葉を生きる』 若松英輔	筆者の考えを表現に即して読み取り、「生きること」と「言葉」の関係について理解を深めます。	●	●	●	
	6	『山椒魚』 井伏鱒二	登場人物の心情を理解しつつ、現代社会に生きる私たちが抱える問題について理解を深めます。	●	●	●	
	7	『永訣の朝』 宮沢 賢治 	表現された内容を読み取り、描かれた行動や言動から、「わたくし」の妹に対する思いを理解します。	●	●	●	
	8	『モードの変遷』 穂村弘	具体例として挙げられた短歌の表現の特質を理解し、時代の変化との関わりについて理解します。	●	●	●	
	10	『こころ』 夏目漱石 	人間の関係性と心情を捉え、人の心のありようについて理解を深めます。	●	●	●	
	11	『文学の未来』 小野正嗣	本文中における引用の役割を押さえて筆者の主張を理解し、文学の意義について理解を深める。	●	●	●	
	12	『鞆』 安部公房	寓意に注意しながら小説を読み、「現代」という時代について考えを深めます。	●	●	●	
	1	『国語から旅立って』 温又柔	筆者の多言語体験に基づく随筆を読み、言葉と自分との関係について考えを深めます。	●	●	●	
	2	『檸檬』 梶井基次郎 	登場人物の言動・心理を表現に即して読み取り、「檸檬」の持つ意味について理解を深めます。	●	●	●	
	3	『クレールという女』 須賀敦子	長い時間をかけて深まっていった筆者の読書体験を読み取り、人間の生き方について考えを深めます。	●	●	●	

1 この科目の構成について

教科	国語	科目	文学国語	単位	3 単位
対象コース	進学	コース	対象クラス	2 年	2～3 組
使用教科書	文学国語（東京書籍）				
使用副教材	イラストとネットワーキングで覚える現代文単語（いいずな書店） 入試につながる現代文（ランズ）				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

国語の教科では、「生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにすること」と「生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばすこと」、「言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度」を育むことを目標としています。

上述の三つの要素を向上させるためには、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、論理的に考える力や深く共感したり豊に想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることが必要です。また、言語がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会にかかわろうとする態度を養います。以上が本校の「現代の国語」の目標です。

学習内容：この科目で学習する大まかな内容

1、文学的な文章を通じて情景の豊かさや心情の機微を表す語句を量を増やし、文章で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにします。また、文学的文章の種類や文体の特徴などについても理解を深め、我が国の言語文化の特質について深く探ります。

2、文章の種類を踏まえ、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉えると共に、作品が成立した背景や他の作品との関係などを踏まえ、作品の解釈を深めます。

3、作品の解釈などについて、自分の意見を発表したり話し合ったりすることを通じて、自分の考えを的確に伝えられるよう表現の仕方を工夫する力を身につけます。

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1) 学校

授業においては「考える手順」を身につけることが最も大切です。ノートとは正答を記すためのものではなく、正答に至るまでの思考のプロセスを書き付けるためのものです。問題文（口頭での質問も含む）の意図を読み取り、思考し、答えを表現する「手順」を授業で体得してください。

(2) 家庭

予習で次に扱う部分を読み、内容理解のための語句の意味調べをしてください。授業でそれを確認します。復習は、学んだ事項の整理と暗記にあててください。

3 この科目の評価方法について

評価の観点：何を使って評価するのか

(1) 知識・技能

主に定期考査において評価しますが、平常課題で漢字や語彙の知識に関連する内容の部分も交えて評価します。定期考査においては、漢字の読み書き、語句の意味等に関する問題を【知識・技能】を計るための問題と位置づけ、評価の対象とします。

(2) 思考・判断・表現

主に定期考査において評価しますが、平常課題において思考力・判断力・表現力が必要となる部分も交えて評価します。定期考査においては、内容の理解に関する問題や記述問題を【思考・判断・表現】を計るための問題と位置づけ、評価の対象とします。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

主に平常課題や長期休暇課題等の取り組みを元に評価します。

4 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
1	4	『山月記』 中島敦 	登場人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について理解を深めます。	●	●	●	
	5	『言葉を生きる』 若松英輔	筆者の考えを表現に即して読み取り、「生きること」と「言葉」の関係について理解を深めます。	●	●	●	
	6	『山椒魚』 井伏鱒二	登場人物の心情を理解しつつ、現代社会に生きる私たちが抱える問題について理解を深めます。	●	●	●	
	7	『永訣の朝』 宮沢 賢治 	表現された内容を読み取り、描かれた行動や言動から、「わたくし」の妹に対する思いを理解します。	●	●	●	
	8	『モードの変遷』 穂村弘	具体例として挙げられた短歌の表現の特質を理解し、時代の変化との関わりについて理解します。	●	●	●	
	10	『こころ』 夏目漱石 	人間の関係性と心情を捉え、人の心のありようについて理解を深めます。	●	●	●	
	11	『文学の未来』 小野正嗣	本文中における引用の役割を押さえて筆者の主張を理解し、文学の意義について理解を深める。	●	●	●	
	12	『鞆』 安部公房	寓意に注意しながら小説を読み、「現代」という時代について考えを深めます。	●	●	●	
	1	『国語から旅立って』 温又柔	筆者の多言語体験に基づく随筆を読み、言葉と自分との関係について考えを深めます。	●	●	●	
	2	『檸檬』 梶井基次郎 	登場人物の言動・心理を表現に即して読み取り、「檸檬」の持つ意味について理解を深めます。	●	●	●	
	3	『クレールという女』 須賀敦子	長い時間をかけて深まっていった筆者の読書体験を読み取り、人間の生き方について考えを深めます。	●	●	●	

1 この科目の構成について

教科	国語	科目	文学国語	単位	3 単位
対象コース	総合	コース	対象クラス	2 年	4～7 組
使用教科書	文学国語（東京書籍）				
使用副教材	WINSTEP Core 国語 2 論理的文章・実用的文章				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

国語の教科では、「生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにすること」と「生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばすこと」、「言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度」を育むことを目標としています。

上述の三つの要素を向上させるためには、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、論理的に考える力や深く共感したり豊に想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることが必要です。また、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会にかかわろうとする態度を養います。以上が本校の「現代の国語」の目標です。

学習内容：この科目で学習する大まかな内容

1、文学的な文章を通じて情景の豊かさや心情の機微を表す語句を量を増やし、文章で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにします。また、文学的文章の種類や文体の特徴などについても理解を深め、我が国の言語文化の特質について深く探ります。

2、文章の種類を踏まえ、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉えると共ともに、作品が成立した背景や他の作品との関係などを踏まえ、作品の解釈を深めます。

3、作品の解釈などについて、自分の意見を発表したり話し合ったりすることを通じて、自分の考えを的確に伝えられるよう表現の仕方を工夫する力を身につけます。

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1) 学校

授業においては「考える手順」を身につけることが最も大切です。ノートとは正答を記すためのものではなく、正答に至るまでの思考のプロセスを書き付けるためのものです。問題文（口頭での質問も含む）の意図を読み取り、思考し、答えを表現する「手順」を授業で体得してください。

(2) 家庭

予習で次に扱う部分を読み、内容理解のための語句の意味調べをしてください。授業でそれを確認します。復習は、学んだ事項の整理と暗記にあててください。

3 この科目の評価方法について

評価の観点：何を使って評価するのか

(1) 知識・技能

主に定期考査において評価しますが、平常課題で漢字や語彙の知識に関連する内容の部分も交えて評価します。定期考査においては、漢字の読み書き、語句の意味等に関する問題を【知識・技能】を計るための問題と位置づけ、評価の対象とします。

(2) 思考・判断・表現

主に定期考査において評価しますが、平常課題において思考力・判断力・表現力が必要となる部分も交えて評価します。定期考査においては、内容の理解に関する問題や記述問題を【思考・判断・表現】を計るための問題と位置づけ、評価の対象とします。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

主に平常課題や長期休暇課題等の取り組みを元に評価します。

4 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
1	4	『山月記』 中島敦 	登場人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について理解を深めます。	●	●	●	
	5	『言葉を生きる』 若松英輔	筆者の考えを表現に即して読み取り、「生きること」と「言葉」の関係について理解を深めます。	●	●	●	
	6	『山椒魚』 井伏鱒二	登場人物の心情を理解しつつ、現代社会に生きる私たちが抱える問題について理解を深めます。	●	●	●	
	7	『永訣の朝』 宮沢 賢治 	表現された内容を読み取り、描かれた行動や言動から、「わたくし」の妹に対する思いを理解します。	●	●	●	
	8	『モードの変遷』 穂村弘	具体例として挙げられた短歌の表現の特質を理解し、時代の変化との関わりについて理解します。	●	●	●	
	10	『こころ』 夏目漱石 	人間の関係性と心情を捉え、人の心のありようについて理解を深めます。	●	●	●	
	11	『文学の未来』 小野正嗣	本文中における引用の役割を押さえて筆者の主張を理解し、文学の意義について理解を深める。	●	●	●	
	12	『鞆』 安部公房	寓意に注意しながら小説を読み、「現代」という時代について考えを深めます。	●	●	●	
	1	『国語から旅立って』 温又柔	筆者の多言語体験に基づく随筆を読み、言葉と自分との関係について考えを深めます。	●	●	●	
	2	『檸檬』 梶井基次郎 	登場人物の言動・心理を表現に即して読み取り、「檸檬」の持つ意味について理解を深めます。	●	●	●	
	3	『クレールという女』 須賀敦子	長い時間をかけて深まっていた筆者の読書体験を読み取り、人間の生き方について考えを深めます。	●	●	●	

1 この科目の構成について

教科	国語	科目	文学国語	単位	3	単位
対象コース	美術	コース	対象クラス	2 年	8～9 組	
使用教科書	文学国語（東京書籍）					
使用副教材	WINSTEP Core 国語2 論理的文章・実用的文章					

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

国語の教科では、「生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにすること」と「生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばすこと」、「言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度」を育むことを目標としています。

上述の三つの要素を向上させるためには、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、論理的に考える力や深く共感したり豊に想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることが必要です。また、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会にかかわろうとする態度を養います。以上が本校の「現代の国語」の目標です。

学習内容：この科目で学習する大まかな内容

1、文学的な文章を通じて情景の豊かさや心情の機微を表す語句を量を増やし、文章で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにします。また、文学的文章の種類や文体の特徴などについても理解を深め、我が国の言語文化の特質について深く探ります。

2、文章の種類を踏まえ、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉えると共にも、作品が成立した背景や他の作品との関係などを踏まえ、作品の解釈を深めます。

3、作品の解釈などについて、自分の意見を発表したり話し合ったりすることを通じて、自分の考えを的確に伝えられるよう表現の仕方を工夫する力を身につけます。

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1) 学校

授業においては「考える手順」を身につけることが最も大切です。ノートとは正答を記すためのものではなく、正答に至るまでの思考のプロセスを書き付けるためのものです。問題文（口頭での質問も含む）の意図を読み取り、思考し、答えを表現する「手順」を授業で体得してください。

(2) 家庭

予習で次に扱う部分を読み、内容理解のための語句の意味調べをしてください。授業でそれを確認します。復習は、学んだ事項の整理と暗記にあててください。

3 この科目の評価方法について

評価の観点：何を使って評価するのか

(1) 知識・技能

主に定期考査において評価しますが、平常課題で漢字や語彙の知識に関連する内容の部分も交えて評価します。定期考査においては、漢字の読み書き、語句の意味等に関する問題を【知識・技能】を計るための問題と位置づけ、評価の対象とします。

(2) 思考・判断・表現

主に定期考査において評価しますが、平常課題において思考力・判断力・表現力が必要となる部分も交えて評価します。定期考査においては、内容の理解に関する問題や記述問題を【思考・判断・表現】を計るための問題と位置づけ、評価の対象とします。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

主に平常課題や長期休暇課題等の取り組みを元に評価します。

4 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
1	4	『山月記』 中島敦  	登場人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について理解を深めます。	●	●	●	
	5	『言葉を生きる』 若松英輔	筆者の考えを表現に即して読み取り、「生きること」と「言葉」の関係について理解を深めます。	●	●	●	
	6	『山椒魚』 井伏鱒二	登場人物の心情を理解しつつ、現代社会に生きる私たちが抱える問題について理解を深めます。	●	●	●	
	7	『永訣の朝』 宮沢 賢治 	表現された内容を読み取り、描かれた行動や言動から、「わたくし」の妹に対する思いを理解します。	●	●	●	
	8	『モードの変遷』 穂村弘	具体例として挙げられた短歌の表現の特質を理解し、時代の変化との関わりについて理解します。	●	●	●	
	9						
	10	『こころ』 夏目漱石  	人間の関係性と心情を捉え、人の心のありようについて理解を深めます。	●	●	●	
	11	『文学の未来』 小野正嗣	本文中における引用の役割を押さえて筆者の主張を理解し、文学の意義について理解を深める。	●	●	●	
	12	『鞆』 安部公房	寓意に注意しながら小説を読み、「現代」という時代について考えを深めます。	●	●	●	
	1	『国語から旅立って』 温又柔	筆者の多言語体験に基づく随筆を読み、言葉と自分との関係について考えを深めます。	●	●	●	
	2	『檸檬』 梶井基次郎  	登場人物の言動・心理を表現に即して読み取り、「檸檬」の持つ意味について理解を深めます。	●	●	●	
	3	『クレールという女』 須賀敦子	長い時間をかけて深まっていった筆者の読書体験を読み取り、人間の生き方について考えを深めます。	●	●	●	